

令和7年度第回蒲郡市まちづくりDX推進コンソーシアム会議録(要旨)

開催日時	令和7年10月20日(月)午後2時から午後4時まで																																																		
開催場所	蒲郡市役所3階 303会議室																																																		
出席者	<p>【委員】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>遠藤 守</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市</td> <td>贊 年宏</td> </tr> <tr> <td>中部電力パワーグリッド株式会社</td> <td>今泉 行晴</td> </tr> <tr> <td>みどり保育園</td> <td>河合 美鈴</td> </tr> <tr> <td>NTT西日本</td> <td>牧野 幸弘</td> </tr> <tr> <td>まちづくりセンター</td> <td>金子 哲三</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市観光協会</td> <td>瀬川 功</td> </tr> <tr> <td>蒲郡商工会議所 中小企業相談所</td> <td>松岡 祐志</td> </tr> <tr> <td>形原地区公共交通協議会</td> <td>藤田 幸三</td> </tr> <tr> <td>愛知工科大学</td> <td>中谷 淳</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事務局】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>役職</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画部</td> <td>部長</td> <td>牧原 英治</td> </tr> <tr> <td>企画部 デジタル行政推進課</td> <td>課長</td> <td>小島 弘明</td> </tr> <tr> <td>企画部 デジタル行政推進課</td> <td></td> <td>山本 拓也</td> </tr> <tr> <td>企画部 デジタル行政推進課</td> <td></td> <td>北川 加奈葉</td> </tr> <tr> <td>危機管理課</td> <td>危機管理監</td> <td>永島 勝彦</td> </tr> <tr> <td>こども健康部 子育て支援課</td> <td>係長</td> <td>倉橋 和夫</td> </tr> <tr> <td>こども健康部 こども家庭センター</td> <td>保育士</td> <td>仲村 晃宏</td> </tr> <tr> <td>産業振興部 観光まちづくり課</td> <td>課長</td> <td>山田 浩隆</td> </tr> </tbody> </table>		所属	氏名	名古屋大学	遠藤 守	蒲郡市	贊 年宏	中部電力パワーグリッド株式会社	今泉 行晴	みどり保育園	河合 美鈴	NTT西日本	牧野 幸弘	まちづくりセンター	金子 哲三	蒲郡市観光協会	瀬川 功	蒲郡商工会議所 中小企業相談所	松岡 祐志	形原地区公共交通協議会	藤田 幸三	愛知工科大学	中谷 淳	所属	役職	氏名	企画部	部長	牧原 英治	企画部 デジタル行政推進課	課長	小島 弘明	企画部 デジタル行政推進課		山本 拓也	企画部 デジタル行政推進課		北川 加奈葉	危機管理課	危機管理監	永島 勝彦	こども健康部 子育て支援課	係長	倉橋 和夫	こども健康部 こども家庭センター	保育士	仲村 晃宏	産業振興部 観光まちづくり課	課長	山田 浩隆
所属	氏名																																																		
名古屋大学	遠藤 守																																																		
蒲郡市	贊 年宏																																																		
中部電力パワーグリッド株式会社	今泉 行晴																																																		
みどり保育園	河合 美鈴																																																		
NTT西日本	牧野 幸弘																																																		
まちづくりセンター	金子 哲三																																																		
蒲郡市観光協会	瀬川 功																																																		
蒲郡商工会議所 中小企業相談所	松岡 祐志																																																		
形原地区公共交通協議会	藤田 幸三																																																		
愛知工科大学	中谷 淳																																																		
所属	役職	氏名																																																	
企画部	部長	牧原 英治																																																	
企画部 デジタル行政推進課	課長	小島 弘明																																																	
企画部 デジタル行政推進課		山本 拓也																																																	
企画部 デジタル行政推進課		北川 加奈葉																																																	
危機管理課	危機管理監	永島 勝彦																																																	
こども健康部 子育て支援課	係長	倉橋 和夫																																																	
こども健康部 こども家庭センター	保育士	仲村 晃宏																																																	
産業振興部 観光まちづくり課	課長	山田 浩隆																																																	
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 先行取組 4 分野のロードマップの進捗報告について (2) コンソーシアム会議の今後の在り方について 3 質疑応答 4 閉会 																																																		
資料	資料1 蒲郡市まちづくりDX推進コンソーシアム名簿 資料2 蒲郡市まちづくりDX推進コンソーシアム設置要綱 資料3 蒲郡市まちづくりDX推進コンソーシアム会議資料 資料4 蒲郡市まちづくりDX基本方針																																																		
会議要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 新任委員の紹介 欠席委員の連絡 2 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 先行取組 4 分野のロードマップの進捗報告について 																																																		

(2) コンソーシアム会議の今後の在り方について
※資料に基づき事務局から説明

3 質疑応答

【先行取組4分野のロードマップの進捗報告について】

- 【質問】まず防災についてですが、蒲郡市公式 LINE の登録者数が増加しているという背景を考えますと市民の方の防災意識が向上しているのかなと感じますか、市としてそういうことを感じるときはあるか。
⇒【事務局】元々「安心ひろめーる」というメール配信でも災害情報の発信は行っていた。「安心ひろめーる」での災害情報は、LINEにも通知がいくため、その影響も考えられる。また、新型コロナウイルス感染症による予防接種受付を LINE で行った際に登録者数が増えた背景もある。
- 【質問】交通分野に関して、利用者側のデータをどうやってとっているか。マップ上で見てとれるものもあると思う。どの地区の利用者が多いなどデータをもっているか
⇒【事務局】現在お示しできるデータはないが、利用者拡充のためにも必要な分析を感じているので、担当課と情報共有しながら今後の事業展開に繋げていきたい。
- 【意見】昨年度からの市民の声を聴き課題を抽出したり、担当課の意見も確認し、ロードマップを作成したなどの取組は評価できる部分かと感じている。そんな中で、現実でできるものとできないものがあるといった担当課の意見も出てきているので、取組内容について見直しも必要になってくるのではないかと思う。
- 【質問】ロードマップの取組の全体の評価を現段階でどう考えているか。
⇒【事務局】見直しも必要かと考えるが、まずはロードマップのなかで実施できる取組を確実に進めていくことに注力して進めてまいりたい。
- 【質問】昨年度の台風で一部浸水などあったと思うが、例えば通行止めの情報を教えて欲しかったなど、市民からの声が市で把握しているものはあれば教えてほしい。
⇒【事務局】市内の何か所かで道路が冠水した箇所はあったが、市民からのといった要望の声は特段なかったと認識している。
- 【質問】ロードマップの中長期的に取り組むものとして位置付けているもののなかで、進んでいるものはあるか。
⇒【事務局】進んでいる部分に関しては、先ほど事務局から進捗状況で説明したとおりの内容である。
- 【質問】昨年度デジタル田園都市国家構想交付金の申請を進めていた農業分野の事業はどのような状況か。
⇒【事務局】2事業を申請したが、2事業とも交付金は採択され今年度事業は進めていると農林水産課から聞いている。

- 【意見】9月頃に豊岡町周辺が停電になったことがある。まだまだ暑い時期だったのでクーラーが付かなくて大変だったが、その際危機管理課の対応もとてもスムーズで助かった。同時に電気がないことがこんなに不便だということも感じた。命を繋ぐ大切な要素だと思うので、今後の検討の一つに加えてもらいたい。
⇒【事務局】担当課に共有させていただく。
 - 【質問】どのくらいの年齢層がどういう場所に行っているかなどデータ収集などして把握されているか。
⇒【事務局】観光協会においても比較的細かいビッグデータを収集できる環境は整いつつあるが、まだまだデータ分析はできていないところがあるので、今後は分析の方に力を入れていく必要があると感じている。
 - 【質問】大学生も都会志向が多い中、若者が来たくなるようなまちづくりを大学も含めて考えてもらいたい。その中で、若者に対するアピールはなにか考えているか。
⇒【事務局】竹島、潮干狩り、あじさい祭りというコンテンツではなかなか若者を集めるには弱いと感じているため、新たな観光資源としてラリー三河湾をもっとPRしていきたいと考えている。
 - 【質問】デジタルサイネージは実施できるものがかなりある。デジタルサイネージを導入し始めたとのことだが、どのような内容のものか。
⇒【事務局】電光掲示板のようなものとなっており、デジタルサイネージと呼べるほどではないかもしれない。蒲郡まつりのときに、名古屋方面と豊橋方面への案内として使っているが、これまでパネルで案内していたので、それに比べるとかなり視認性がよくなつた。今後は蒲郡まつり以外のイベント等でも活用していきたいと考えている。
- 【コンソーシアム会議の今後の在り方について】
- 【意見】市のイベントに総代という立場で昨年に色々と携わってきたが、紙がとても多いと感じた。まちづくり DX を検討するのもよいが、まずはペーパーレスなど行政側の DX をもっと進めていくべきであると思う。その後に各分野へ取り組んでいくことがよいと思っている。
 - 【意見】毎月発行している広報をデジタル化していくことも必要ではないか。印刷コストの削減にも繋がり、世帯に配る人の扱い手も減っていくことへの対策にもなると考える。
⇒【事務局】担当課に共有させていただく。
 - 【意見】作業部会の設置はよいと思う。分野を横断的に取り組むとのことだが、ゆくゆくは分野や課題を特定していかないと参加される人も参加しづらいと思われる所以、そのあたりも念頭においてもらえばと思う。
 - 【意見】作業部会を作つて取り組んでいくことは、ニーズを掘り起こしたいのか、扱い手を作つていただきたいのかどちらになるのかを明確にした方がよいと思う。
 - 【意見】市役所が持つてゐる組織体にいくつか参加させていただくこ

	<p>とがあるが、同じような議論をしていることがよくある。作業部会を設置していくことはよいが、同じ議論を色んな所でされないように、市役所内部でも情報共有していくことが大事ではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">● 【意見】作業部会のメンバーはプロ・アマ問わず取り入れていくといい循環が生まれるのではないかと思う。● 【意見】作業部会設置のために商工会議所や観光協会で説明会を行うとのことだが、市民団体向けにも実施した方がより色んな方が集まるのではないかと思う。 <p>4 閉会</p> <p>(1) 事務局から事務連絡</p>
--	--